平成 19 年度 **事務事業マネジメントシート** 作成日 平成 19 年 4 月 26 日作成 6歳日 平成 19 年 7 月 5 日作成

							-		总恢口 十成	19 4 (カ o difix
	事		自治/ 業	公民館	用地取得、建設	費、備品購入	費助成事	マニフェスト	·関連	□ 全庁横	断課題関連
	ī	60 年夕		4 み	んな元気で笑顔	jあふれるまち	づくり 所	属部 教育委員	員会事務局	所属課 生涯	学習課
	ţ	施策名	計 画 2	-	涯学習の推進			属係 生涯学習	3班	課長名 野本	<u> </u>
·	基之	本事業名	体 - 系 8	0 生	涯学習・スポージ	ツ施設(環境)	の整備担	当者名 谷本 洋	美	電話番号 096- (内線) 1503	-248-5555
	予	'료사'러 "	会計 0 1	款 1 0	項 目 事 0 5 0 3	業 公民館費	法	令根拠 合志	市地区公民館建	建設費補助金2	交付要綱ほか
	事	業期間		年度の		単年度繰返 □ 開始年			艮定複数年度→全 年度		量を記入 手度)
			具体的	的なやり	り方、手順、詳細					間限定複数年度のみ	
自をの(業を名で)	台限を務治公算	として、それぞ カ成する。 の内容) î公民館からの	れ対象 補助金 の請求	象経費の 金交付申	し、助成を行う。 業 33分の1を助成す 請書を受理する。 け、補助金を交付	る。また備品購	入には20万円を」	上限として購入費	の5分 ・ 総投入 量 ・ 人件費 源内訳 — 正 — 正 — 正 —	地力頂	0
		状把握の部 (務事業の目的		計 標							
184 ① ± ② ± 192 ② ± ② ± ② 自 剂 3 自 4	年也也一年也也, 对 台 意会 一点 結	金田館備品購 を計画(19年) 金田館建設費 金田館建設費 金田館 会(誰、何をう 本田館 会(証の事業 本田の設置、	度にかれています。 はい	金(13公 助金(82 計画して 金(14公 助金(23 こしてい って、対 備品の に 活び付 (民館: 計 2,475,6公民館: 計 1,268,6公民館:計 1,268,6 にいる主な活動) 公民館に交付予定 3公民館に交付予 3公民館に交付予 3のか)*人や 第をどう変える6 購入により公民館	000円を交付) (i) 定) (自然資源等 のか)		アイ ウ ⑥ アイウ 瀬	票(対象の大きさを表す 名称	指標)数字は記入し の達成度を表す指標。 公民館 を表す指標)数字は	単位 単位 円 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位
(2)	総	事業費・指標	等の	推移	16年亩	17左帝	10年度		00年度	01左座	00 左座
				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投	業	国庫支b 財 ^{都道府県支} 内 ・	出金 責 也	千円 千円 千円							
入量	~	一般則	<u>源</u> (A)	千円	1,473 1,473	644 644	3,778 3,778	11,058 11,058	11,000 11,000	7,000 7,000	
	人	正規職員従事	人数	人	3	3	4	4	4	4	4
	件費	延べ業務時 人件費計		時間 千円	100 250	100 250	162 643	162 643	162 643	162 643	
Ц	١-	−タルコスト(A)		千円円	1,723 1,473,000	894 644,000	4,421 3,778,000	11,701 11,058	11,643 11,000	7,643 7,00	
		活動指標	ア イ ウ		1,410,000	011,000	5,115,000	11,000	11,000		0,000
	:	対象指標	ァ イ ウ	館	35	35	78	78	78	7	8 78
		成果指標	ア	館	10	5	21	37	25	1	5 15
			イ ウ ア	%	未調査	未調査	未調査	20	25	3	0 35
1	上	位成果指標	/ イ 占	70	/INNUEL	/INN/II.	/\\\\\ <u>1</u>		20		

合志市

所属部 教育委員会事務局 所属課

生涯学習課

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等 ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
- ①地区公民館建設費補助金(平成元年度から開始)
- ②地区公民館備品購入費補助金(平成3年度から開始)

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

自治公民館のハード面整備は、この助成金制度により旧合志町地域では相当整備が進んでいる。旧西合志町では助成額が低く、改修や備品購入 の助成はなかったため、ほとんど地区の自前で経費をまかなっていた

合併後全市の地区公民館に旧合志町の助成制度が適用されることになっため、旧西合志地域の地区公民館からの申請が相次ぎ、助成総額が高 騰する結果となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

旧西合志地域においては、地区公民館長は区長との兼任が多いため、区長会議等で合併直後事業実施に18年度予算がすぐ対応できなかった点 批判が出た。

また財政が厳しい中、要望の全てを予算化することは困難で、要望の採択法を再検討すべきとの指摘を受けている。

Ļ		T (Tr. 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
2		平価、ただし複数年度事業は途中評価
	①政策体系との整合性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
		☑ 結びついている ⇒【理由】 🔂
	この事務事業の目的は市の政策体	この事業によって、地域公民館施設が整備され、地域の生涯学習活動の振興につながるので、政策と結び
	系に結びつくか?意図することが結	べ。
	果に結びついているか?	
目的		
	② 公共関与の妥当性	▼ 見直し余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	2 五六萬子の女当任	□ 妥当である ⇒【理由】 □
妥	」 なぜこの事業を市が行わなければ	
当	ならないのか?税金を投入して、達	旧町間に相当の格差があったため、合併時に旧合志町の制度に合わせたが、逆に言えば旧西合志町の制度では、またのではます。
性	ならないのか?祝金を投入して、建一成する目的か?	度でも従来やってきた事でもある。 地域公民館に対する公的助成のレベルは議論されるべきである。
評		地域公式間(これ) する公司の別以のフレ・シンドよ政論ですしていて、このでしょう
征		
ΙЩ	③ 対象・意図の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → →3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
		☑ 適切である ⇒【理由】 3
	対象を限定・追加すべきか?意図を	事業の対象は地域の公民館であり、市が意図する地域の振興にかなうので適切である。
	限定・拡充すべきか?	
_	④ 成果の向上余地	「 向上余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
	体 成未の向工示地	
		□ 向上余地がない →【理由】
	成果を向上させる余地はあるか?	地域公民館の数は78館あり、それぞれの施設での状況は異なるが、経年とともに改修や整備の予定は尽
	成果の現状水準とあるべき水準と	きることはない。
	の差異はないか?何が原因で成果 向上が期待できないのか?	一方で成果が上がっても片方では改修の必要が常に待っているため、事業は限りない繰り返しとなる。
	向上が期待できないのか?	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	□ 影響無 ⇒【理由】 <mark>つ</mark> ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
有	•	▼ 影響有 ⇒【その内容】 → 【
상	事務事業を廃止・休止した場合の影	それぞれの地域公民館は、すべて地域独自の費用負担で整備改修を行わなくてはならないので、費用負
14	響の有無とその内容は?	担能力の多寡によって施設設備等の格差が広がって、地域での生涯学習活動にも格差を生じる。
評		
価		
ıμ	⑥ 類似事業との統廃合・連携	□ 他に手段がある 🕤 (具体的な手段、事務事業)
	の可能性	□ □□「「秋かめる」 ▼ (六 本日は丁秋、 事初事末/
	目的を達成するには、この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業	
	との統廃合ができるか?類似事業と	□ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 つ
	の連携を図ることにより、成果の向	地域公民館=地域ととらえ、バラバラに交付している各種の助成金を整理統合すべきである。
	上が期待できるか?	
		□ 他に手段がない ⇒【理由】 👉
	⑦ 事業費の削減余地	☑ 削減余地がある ⇒【理由】 🕤 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
		□ 削減余地がない ⇒【理由】 →
	成果を下げずに事業費を削減でき	現在、建設費補助金の助成率が経費の3分の1、用地取得及び備品購入が経費の5分の4となっている
		が、地元負担と公費負担の割合を見直せば、事業費は削減可能である。
	民の協力など)	
效		
率	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削	□ 削減余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
13	法会事	▼ 削減余地がない ⇒ 【理由】
評		助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しい。
佂	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより	別成金の父母で事業夫額の確認など、必要取小阪の事務であるにめ、刑例は無しい。
	正職員以外の職員や委託でできな いか?(アウトソーシングなど)	
	0.8 : ()) [22 / 42 /	
_		
公	9 受益機会・費用負担の適正	☑ 見直し余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
平	化余地	公平・公正である ⇒【理由】 🕤
性	事業の内容か一部の受益者に偏っ	現在、建設費補助金の助成率が経費の3分の1、用地取得及び備品購入が経費の5分の4となっている
		が、地元負担と公費負担の割合を見直せば、事業費は削減可能である。
= 11	CO CIAICISISON XIII	. (
評価	台坦が公立・公正にたっているか?	1,10,00,1,10,10,10,10,10,10,10,10,10,10,

事務事業名	自治公民館用地取得 費助成事業	、建設費、備品購入	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
3 評価結果の総括と	今後の方向性(次年)	隻計画と予算への反映				
(1) 1次評価者としての	評価結果		(2))全体総括(振り返り、		
① 目的妥当性	□ 適切	☑ 見直し余地あり		があり、合併後そのこ	とが明られ	、合併前の旧両町で大きな開き かになると、「サービスはより高 西合志地域からの要望が相次
② 有効性	□ 適切	☑ 見直し余地あり		いだ。		成総額は年々膨らむのは明ら
③ 効率性	□ 適切	☑ 見直し余地あり		かである。助成率の見	見直しや助	が成の総枠設定などを検討し、 検討しなければならない。
④ 公平性	□ 適切	☑ 見直し余地あり				, ,
(3) 今後の事業の方向			_			4) 改革・改善による期待成果
原止 口休止		▼ 事業統廃合・連携		のやり方改善(有効性改	善) (月	発止・休止の場合は記入不要)
▼ 事業のやり方改善(効		業のやり方改善(公平性さ 、	攻善)			
	特に改革改善をしない。		C) \ Z PH 1	+ ムナ・軟理 な ム 十 7		│ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │
①地域公民館=区とみれ ②助成率の見直し、助						
③助成の総枠を設け、						
する。	別以安主区ワ別以「	/ 足形領別刊を担えた	勿口、1四	選はこ 「別 以 別 家 区 '	と送が	成 推 持
などの改善を検討し	ていきたい。					低
18C 7 9K II C [K] 10	, , , , , ,					 × ×
(5) 改革, 改善を実現す	「る上で解決すべき訳	果題(壁)とその解決策			<u> </u>	
地域公民館のうち、	旧合志町地域は即	力成金のレベルダウン	/、地元	負担の増加は避け	られず、月	又発が予想される。
また旧西合志地域	は、合併時の約束に	に違反しているという	批判が	多数出るものと思わ	れる。	
市全体で「みんなで						る。
4 東致東娄のの物部	無 					
4 事務事業の2次評 (1) 1次評価結果の客額						
	既住と田木兵吉 価の記述内容を読ん	だ段陛で選択)				
┃ ┃┃記述不足で♪	っかいりにくしい					
□ 記述不足でれ						
□ 一部記述不足	己のところがある					
	己のところがある					
□ 一部記述不足 □ 記述は十分な ②評価の客観性水	足のところがある されている 準(2次評価を行った	後に総合的に判断して				
□ 一部記述不足 □ 記述は十分な ②評価の客観性水 □ 客観性を欠い	とのところがある されている 準(2次評価を行った かており評価が偏って	いる(事務事業の問題		重が認識されてない)		
□ 一部記述不足 □ 記述は十分な ②評価の客観性水 □ 客観性を欠い □ 一部に客観性	とのところがある されている 準(2次評価を行った なおり評価が偏って まを欠いたところがあ	いる(事務事業の問題 る	点、課題			
□ 一部記述不足 □ 記述は十分な ②評価の客観性水 □ 客観性を欠い □ 一部に客観性 □ 客観的な評価	されている されている 準(2次評価を行った でおり評価が偏って を欠いたところがあ しとなっている(事務事	いる(事務事業の問題	点、課題認識され	いる)	Ш ф	
□ 一部記述不足 □ 記述は十分な ②評価の客観性水 □ 客観性を欠い □ 一部に客観性	されている されている 準(2次評価を行った でおり評価が偏って を欠いたところがあ しとなっている(事務事	いる(事務事業の問題 る	点、課題認識され		理由	
□ 一部記述不足 □ 記述は十分な ②評価の客観性水 □ 客観性を欠い □ 一部に客観性 □ 客観的な評価	されている されている 準(2次評価を行った でおり評価が偏って を欠いたところがあ しとなっている(事務事	いる(事務事業の問題 る	点、課題認識され	いる)	理由	
□ 一部記述不見 □ 記述は十分な ②評価の客観性水 □ 客観性を欠い □ 一部に客観性 □ 客観的な評価 (2) 2次評価者としての	をのところがある されている 準(2次評価を行った でおり評価が偏って を欠いたところがあ しとなっている(事務事 評価結果	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が	点、課題 認識され	いる)	理由	
□ 一部記述不見 □ 記述は十分な ②評価の客観性水・ □ 客観性を欠い □ 一部に客観性 □ 客観的な評価 ② 2次評価者としての ① 目的妥当性	型のところがある されている 準(2次評価を行った でおり評価が偏って 生を欠いたところがあ 近となっている(事務事 評価結果	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 「見直し余地あり	点、課題認識される。 (3	いる)	理由	
□ 一部記述不見 □ 記述は十分な ②評価の客観性水 □ 客観性を欠い □ 一部に客観性 下 客観的な評価 ② 2次評価者としての ① 目的妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性	型のところがある はされている 準(2次評価を行った でおり評価が偏ったいな(事務) 証となっている(事務) 評価結果	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり	認識される	いる)		
□ 一部記述不見 □ 記述は十分な ②評価の客観性水 □ 客観性を欠い □ 一部に客観性 客観的な評価 ② 2次評価者としての ① 目的妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 ④ 公平性	型のところがある されている 準(2次評価を行った でおり評価が偏った を欠いたところ(事務) 証となっている(事務) 評価結果	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		5) 改革・改善による期待成果
□ 一部記述不見 □ 記述は十分な ②評価の客観性水: □ 客観性を欠い □ 字観的な評価 名としての ① 目的妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 ② 今後の事業の方向 □ 廃止 □ 休止	全のところがあるにされている。 はされている 準(2次評価を行ったいている(事所)にとないでいる(事務)	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 最直し余地あり 最直し余地あり	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		廃止 <u>・休止の場合は記入不要</u>)
□ 一部記述不見	全のところがあるにされている。 はされている 準(2次評価を行ったいなり評価がによる(事務を) 上なないている(事務 団 歯 歯 切 団 歯 歯 切 団 切 ロ 単(改革的再設 世(改革の事) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		廃止・休止の場合は記入不要) ・・・・ コスト
□ 一部記述不見	全のところがあるにされている。 はされている 準(2次評価を行ったいている(事所)にとないでいる(事務)	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		R止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
□ 一部記述不見	全のところがあるにされている。 はされている 準(2次評価を行ったいなり評価がによる(事務を) 上なないている(事務 団 歯 歯 切 団 歯 歯 切 団 切 ロ 単(改革的再設 世(改革の事) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		廃止・休止の場合は記入不要) ・・・・ コスト
□ 一部記述不見	全のところがあるにされている。 はされている 準(2次評価を行ったいなり評価がによる(事務を) 上なないている(事務 団 歯 歯 切 団 歯 歯 切 団 切 ロ 単(改革的再設 世(改革の事) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		R止・休止の場合は記入不要)
□ 一部記述不見	全のところがあるにされている。 はされている 準(2次評価を行ったいなり評価がによる(事務を) 上なないている(事務 団 歯 歯 切 団 歯 歯 切 団 切 ロ 単(改革的再設 世(改革の事) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		発止・休止の場合は記入不要)コスト 削減 維持 増加 向 上 成 維
□ 一部記述不見	全のところがあるにされている。 はされている 準(2次評価を行ったいなり評価がによる(事務を) 上なないている(事務 団 歯 歯 切 団 歯 歯 切 団 切 ロ 単(改革的再設 世(改革の事) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		R止・休止の場合は記入不要)
□ 一部記述不見	全のところがあるにされている。 はされている 準(2次評価を行ったいなり評価がによる(事務を) 上なないている(事務 団 歯 歯 切 団 歯 歯 切 団 切 ロ 単(改革的再設 世(改革の事) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		発止・休止の場合は記入不要)コスト 削減 維持 増加 向 上 成 維
□ 一部記述不見	全のところがあるにされている。 はされている 準(2次評価を行ったいなり評価がによる(事務を) 上なないている(事務 団 歯 歯 切 団 歯 歯 切 団 切 ロ 単(改革的再設 世(改革の事) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		発止・休止の場合は記入不要)コスト 削減 維持 増加 点
□ 一部記述不見	全のところがある はされている 準(2次評価を行ったいる 準(2次評価を行ったいる (本で はまを 欠いている (事が はまた 欠っている)	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり で見でで連携 であり、では、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		発止・休止の場合は記入不要)コスト 削減 維持 増加 点
□ 部記述十分な ②評価の客観性水: □ 記述は十分な ②評価の客観性を欠い □ 客観的な評価 ② 2次評価 おとして ③ 効 性 ② 有 効性 ③ 効 率 性 ④ 公 事業の本り方と (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (5) のよりで (6) 原事業がは、 (6) のよりでもの。 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (9) のものは、 (9) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (2) のものは、 (3) のものは、 (4) のものは、 (4) のものは、 (5) のものは、 (5) のものは、 (6) のものは、 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (9) の	全のところがある はされている 準(2次評価を行ったいる 準(2次評価を行ったいる (本で はまを 欠いている (事が はまた 欠っている)	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり で見でで連携 であり、では、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		発止・休止の場合は記入不要)コスト 削減 維持 増加 点
□ 部記述十分な ②評価の客観性水: □ 記述は十分な ②評価の客観性を欠い □ 客観的な評価 ② 2次評価 おとして ③ 効 性 ② 有 効性 ③ 効 率 性 ④ 公 事業の本り方と (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (5) のよりで (6) 原事業がは、 (6) のよりでもの。 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (9) のものは、 (9) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (2) のものは、 (3) のものは、 (4) のものは、 (4) のものは、 (5) のものは、 (5) のものは、 (6) のものは、 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (9) の	全のところがある はされている 準(2次評価を行ったいる 準(2次評価を行ったいる (本で はまを 欠いている (事が はまた 欠っている)	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり で見でで連携 であり、では、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		発止・休止の場合は記入不要)コスト 削減 維持 増加 点
□ 部記述十分な ②評価の客観性水: □ 記述は十分な ②評価の客観性を欠い □ 客観的な評価 ② 2次評価 おとして ③ 効 性 ② 有 効性 ③ 効 率 性 ④ 公 事業の本り方と (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (5) のよりで (6) 原事業がは、 (6) のよりでもの。 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (9) のものは、 (9) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (2) のものは、 (3) のものは、 (4) のものは、 (4) のものは、 (5) のものは、 (5) のものは、 (6) のものは、 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (9) の	全のところがある はされている 準(2次評価を行ったいる 準(2次評価を行ったいる (本で はまを 欠いている (事が はまた 欠っている)	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり で見でで連携 であり、では、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		発止・休止の場合は記入不要)コスト 削減 維持 増加 点
□ 部記述十分な ②評価の客観性水: □ 記述は十分な ②評価の客観性を欠い □ 客観的な評価 ② 2次評価 おとして ③ 効 性 ② 有 効性 ③ 効 率 性 ④ 公 事業の本り方と (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (5) のよりで (6) 原事業がは、 (6) のよりでもの。 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (9) のものは、 (9) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (2) のものは、 (3) のものは、 (4) のものは、 (4) のものは、 (5) のものは、 (5) のものは、 (6) のものは、 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (9) の	全のところがある はされている 準(2次評価を行ったいる 準(2次評価を行ったいる (本で はまを 欠いている (事が はまた 欠っている)	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり で見でで連携 であり、では、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		発止・休止の場合は記入不要)コスト 削減 維持 増加 点
□ 部記述十分な ②評価の客観性水: □ 記述は十分な ②評価の客観性を欠い □ 客観的な評価 ② 2次評価 おとして ③ 効 性 ② 有 効性 ③ 効 率 性 ④ 公 事業の本り方と (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (5) のよりで (6) 原事業がは、 (6) のよりでもの。 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (9) のものは、 (9) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (2) のものは、 (3) のものは、 (4) のものは、 (4) のものは、 (5) のものは、 (5) のものは、 (6) のものは、 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (9) の	全のところがある はされている 準(2次評価を行ったいる 準(2次評価を行ったいる (本で はまを 欠いている (事が はまた 欠っている)	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり で見でで連携 であり、では、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		発止・休止の場合は記入不要)コスト 削減 維持 増加 点
□ 部記述十分な ②評価の客観性水: □ 記述は十分な ②評価の客観性を欠い □ 客観的な評価 ② 2次評価 おとして ③ 効 性 ② 有 効性 ③ 効 率 性 ④ 公 事業の本り方と (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (4) 今後の事は、 (5) のよりで (6) 原事業がは、 (6) のよりでもの。 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (9) のものは、 (9) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (1) のものは、 (2) のものは、 (3) のものは、 (4) のものは、 (4) のものは、 (5) のものは、 (5) のものは、 (6) のものは、 (7) のものは、 (7) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (8) のものは、 (9) の	全のところがある はされている 準(2次評価を行ったいる 準(2次評価を行ったいる (本で はまを 欠いている (事が はまた 欠っている)	いる(事務事業の問題 る 事業の問題点、課題が 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり で見直し余地あり で見でで連携 であり、では、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	点、課題認識される。	れている) 3)評価結果の根拠と3		発止・休止の場合は記入不要)コスト 削減 維持 増加 点